

## 平成 2 6 年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

生徒一人ひとりの個性を伸ばし、志を持ち、夢や希望を追求し真に生きる力を持った生徒を育む学校をめざす

- (1) 進路を自己決定できる力と進路を実現できる学力を身につけ、自分の人生を切り拓く力を持った生徒を育てる
- (2) コミュニケーション力を身につけ、自分の言葉で自分の考えを表明できる生徒を育てる
- (3) 校訓である「自他敬愛」の心を育むと共に、自律的な生徒を育てる
- (4) 地域に信頼され愛される学校の取組を通して、リーダーシップを発揮できる生徒を育てる

## 2 中期的目標

## 1 第一希望の進路実現

(1) 特色ある教育課程を編成し、生徒の学習意欲を向上

ア 大学や医療系専門学校への進学実績の向上を図り、本校の特色のひとつとする。

※ 「文系アドバンス」コースの生徒に対して、英検対策講座を実施し、受験を促す。

※ 「看護医療」専門コースの生徒に対して、看護師体験及び保育体験などの体験学習を実施する。

イ 進路行事を積極的に展開し、進路に関する意識向上と日々の学習意欲向上をめざす。

ウ 学校における教育活動のあらゆる面で、生徒の言語活動の充実を図る。その一つとして読書活動を推進する。

エ 使える英語プロジェクトにおける実践をもとに、英語におけるコミュニケーション能力を向上させる。

※ 生徒に英検講習を実施し、受験を勧め、準2級合格率40%をめざす。

(2) 生徒の満足度の高い「充実した授業」に向けた授業改善

ア 学校教育自己診断や生徒の授業アンケートを参考に授業改善を図る。

イ 校内外の優れた実践事例の研修を通し、指導法を研究し、共有を行う。

ウ 公開研究授業の実施を推進する。

※ 生徒による授業評価における授業満足度(平成24年度75.8%)を平成26年度には80%を達成する。

(3) 個別指導の充実と自己学習の支援

ア 支援の必要な生徒実態を把握し、教職員の共通理解を促進し、支援の充実を図る。

イ 進学を意識した講習を実施し、自学自習のための支援体制を整備する。

※ 自己診断における進路満足度(平成24年度86%)を平成27年度には90%を達成する。

## 2 自主・自律・礼節を重んじる生徒の育成

(1) 規範意識の向上

ア 毎朝の立ち番指導及び通学指導を継続し、通学マナーの向上を図る。

イ 毎朝の立ち番指導に合わせてあいさつ運動を実施し、コミュニケーション能力の向上を図る。

ウ 頭髪・服装・遅刻指導を推進する。

エ 急速に普及しているスマートフォンによる人権侵害についての取り組みを推進する。

(2) 自主的活動ができる生徒集団の育成

ア 生徒会行事・生徒会活動・部活動を一層活性化させる。

※ 部活動加入率(平成24年度54%)を平成26年度には65%を達成する。

イ 生徒による演技・演奏の発表や芸術作品の発表の機会を増やすことにより、文化・芸術の振興を図る。

ウ 生徒による校内外の美化活動を推進する。

## 3 ICT機器の活用

(1) ICT機器を活用して校務の効率化を図り、生徒と向き合う時間を確保

ア 校内イントラネットを活用する。

(2) ICT機器を活用した授業の実施を推進

イ タブレット型PCや電子黒板等を活用する。

ウ フューチャールームを活用する。

エ 全ての教科で手軽にICT機器を利用した授業ができる環境の整備と教職員の能力向上を図る。

※ 平成24年度入学生が平成26年度に卒業する時に、指導要録をコンピュータで作成する。

## 4 信頼される学校づくり

(1) 開かれた学校づくりを推進し、生徒・保護者に信頼され、地域中学生に憧れられる学校

ア 学校説明会を積極的に実施する。

イ ブログを活用して、最新の学校情報を発信する。

ウ 学校メールマガジン(モズマガ)の利用拡大を図る。

(2) 地域と連携した事業の展開を図り、地域とともに成長する学校

ア 子育てサポートルームとの連携を一層進める。

イ 堺市、地域自治会、地域小学校・中学校・大学との連携を進める。

※ フューチャールームを活用して地域との交流を進め文化発信の場となる。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [平成26年12月実施分]	学校協議会からの意見
<p>【生徒向けのアンケート】結果では、特に学校行事において「学校祭体育の部や文化の部は積極的に取り組めるよう工夫されている」が5%ポイント増の83%と肯定的回答の数値が上昇した。また、3年生については、「既に決まっている、もしくは今チャレンジしている進路は第1志望である」が94%と高く、中期的目標の「第1志望の進路実現」は達成しつつある。</p> <p>【保護者向けのアンケート】では、「子どもは学校が楽しいと言っている」が22ポイント増の86%、また、「学校は保護者が授業を参観する機会をよく設けている」が12ポイント増の82%、「この学校のホームページは充実している」が45ポイント増の79%、「メールマガジンは役に立っている」が6ポイント増の93%で、開かれた学校づくりが功を奏している。</p> <p>【教員向けのアンケート】では、「生徒が望ましい勤労観、職業観を持つことができるよう、各学年に応じた系統的なキャリア教育を行っている」が23ポイント増の89%、「生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細かい指導を行っている」が6ポイント増の81%、「生徒会活動を通じて、生徒が主体的に活動できるよう学校全体で支援している」が9ポイント増の87%、「校長は教育理念や学校運営についての考えを明らかにし、リーダーシップを発揮している」が58ポイント増の93%、「この職場においては、教職員の服務規律への自覚が高い」が11ポイント増の90%、「コンピュータ等のICT機器が、授業などで活用されている」が5ポイント増の93%、「校内研修が計画的に実施され、教育実践に役立つような内容となっている」が10ポイント増の83%、「学校内で他の教員の授業を見学する機会がある」が2ポイント増の95%、「教員の間で、授業方法等について検討する機会を持っている」が17ポイント増の75%、「教育活動に必要な情報を積極的に収集し、Webページやメルマガなどを通して、生徒・保護者や地域への周知に努めている」が7ポイント増の95%で、ICT機器を利用し「充実した授業」に向けた授業改善に努めていることがわかる。また、ホームページのブログやメールマガジン（モズマガ）を活用して学校情報を発信していることもわかる。</p> <p>しかしながら、【生徒向けアンケート】では、「授業の内容をわかりやすく工夫している」が3ポイント減の49%、「この学校は、DVDなどの視聴覚機器やコンピュータ・プロジェクターなどのICT機器の活用に取り組んでいる」が1ポイント減の69%、【保護者向けアンケート】では、「内容がわかりやすい授業が多いようだ」が7ポイント増ではあるが57%と高くはない、「この学校は、DVDなどの視聴覚機器やコンピュータ・プロジェクターなどのICT機器の活用に取り組んでいる」が9ポイント減の77%となっている。</p> <p>つまり、授業者の教師側と、受け手の生徒・保護者側では乖離がある。実際に生徒・保護者が実感するような「学力向上のための授業力改善」を実行していくことが必要であると思われる。</p> <p>また、ICT機器の活用においても、生徒が小中学校でそのような学習環境に慣れているのか、高校ではあまり新鮮さを感じていないのか、ICT機器を活用した授業についても、さらに工夫が必要である。</p>	<p>【第1回(6/19木)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東百舌鳥の取組み（リーダー研修やピアサポート研修）の成果はでてきていると思う。また、卒業生の活用も考えてみてはどうですか。この取組みをもっと広報してください。</li> <li>○ 学力の伸長、たとえば、看護医療専門コースは来春結果が出ますが、「東百舌鳥高校の英語教育はどんな風に取り組めばよいのか」確認してください。</li> <li>○ 英語と情報は東百舌鳥高校の売りになると思います。しっかり取り組んでいって欲しいと思います。</li> <li>○ 授業法だけでなく、生徒指導に関して若い先生方は苦勞すると思いますが、経験豊富な先生方と若い先生方の連携、コミュニケーションがうまく機能するようにしてください。</li> <li>○ 東百舌鳥高校は、この数年で変わってきていると思います。良いところをもっと広報をしてください。</li> <li>○ 中学で主役（リーダー）になれなかった生徒が、東百舌鳥高校に入学して中心となって頑張っている様子が見受けられる。先生方の指導の仕方で生徒は、どんどん変わっていく。見守り、自立させていく指導は難しいところではあると思いますが、よろしくお願ひしたい。</li> <li>○ 学校生活を楽しくさせる要因の一つに、部活動があると思う。高校生活の思い出だけでなく、集中力や持続力をつけさせるためにも、部活動を頑張らせることが必要だと思います。そういう意味では、部活動加入率が向上するよう努力してください。</li> </ul> <p>【第2回(11/12水)】 (授業見学の後、授業改善に向けた提言)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活発で、いい意味で授業がきっちり行われている。授業の改善システムをうまく機能させるようにしてください。</li> <li>○ プレゼンテーションソフトを使った授業や、調理実習でタブレット型PCを使ったり、自分の時代と全然違うので驚いた。良い授業の取組みや工夫を、どのように拾い上げていくのか。</li> <li>○ 先生方の中でも、「若年層は力で押している」「中堅は試行錯誤している」「ベテランは自分流で通している」という印象がある。授業参観をする中で、教科の枠を超えて、生徒にどんな学力をつけたいのか、そのために本校の生徒にとってどのような授業が必要なのかを明確にしてください。</li> <li>○ 興味関心を引きながら、どういう教材を使って、どういう学力の保証をするのかという「授業改善システム」を構築することが大事です。</li> </ul> <p>【第3回(1/26月)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校教育自己診断結果（教職員）より、東百舌鳥高校は円滑に学校が運営されていることがわかりました。</li> <li>○ 高校生のアルバイトについて、部活動の加入率とも関連しますが、学校の指導だけではなく、PTAの研修会等を通して、保護者とともに取り組んでいくというコンセンサスが重要であると思われます。</li> <li>○ 自転車通学のマナー教育やICT機器を活用した教育について、一生懸命指導されていると思いますが、教員と生徒、保護者で受け止め方が違います。そのギャップを埋める努力をしてください。</li> <li>○ 自転車通学のマナーについてのクレームに対しては、学校の取組みを理解してもらえよう、より効果的なアピールの方法や、対処の仕方の研究をしてください。</li> <li>○ マナーやモラルの問題については、家庭での教育の要因も大きいことを保護者にも伝えて、学校が頑張っていることを、知ってもらうことが大事です。</li> <li>○ 学校が家庭や地域とのつながりを大切にして、危機管理についても「地域巻き込み型」で、一緒にやっていく姿勢を示してください。</li> <li>○ 資料を見せてもらって、先生方の取組みが年々すごくなってきているのがよくわかります。先生だけが頑張っているようなことにならないように、省略できるところは省略して、ゆとりを持って事にあたっていただけたらと思います。</li> <li>○ PTAの次期役員・学級委員を選出する際に、担任からではなく役員から推薦するなど特に一年生について、保護者と教員で運営のやりやすい形、コミュニケーションをとる方法について、検討して欲しい。</li> <li>○ 東百舌鳥高校での、英語教育やICTを使った授業、ピアサポート研修などの取組みはもっと評価されてよいと思います。さらに充実した取組みとなるよう頑張ってください。</li> <li>○ 授業見学や授業公開など、教育力の向上に向けた取組みを続けてください。</li> <li>○ 自転車で登校中の生徒に注意をしたことがありますが、「一声かければ、ちゃんと聞く子が多い」ので、先生だけでなく地域も巻き込んで戦略的にやっていけばよいと思います。</li> </ul>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
第一希望の進路実現	(1) 学びに対する意欲の向上 ア 大学や医療系専門学校への進学実績の向上 イ 進路行事の積極的展開 ウ 読書活動の推進 エ 英語のコミュニケーション能力の向上	(1) ア・「文系アドバンス」コースではコミュニケーション能力重視の英語の授業を展開する。 ・「看護医療」専門コースでは看護医療系の上級学校への進学をめざし、看護師及び保育体験を実施する。 ・体験学習ができる関係機関の新たな発掘 イ・大学見学や先輩の話を聞く会、模擬授業等の体験学習を充実させる。 ウ・生徒図書委員の活動(推薦本の紹介(図書だよりやポップ等)やイベント、ブログ等)を工夫し、来室者ポイントを図る。 エ・英語での発表会を実施する。 ・英検の受験を奨励する。 ・オーストラリア語学研修を実施する。	(1) ア・英検準2級合格率 30%以上 ・50%以上の生徒が、1日看護師体験等に参加 ・50%以上の生徒が、保育体験に参加 イ・進路行事に対する肯定率 70%以上 ・進路満足度 88%以上 ・1学期の希望進路先の実現度 60%以上 ウ・図書館利用者数前年度比 5%ポイント(H25年 4374名、12月末) エ・英検受験者数 200人以上	(1) ア・2学期末で、進路先決定者 213名(3年生在籍 303名)のうち、4月当初の進路希望調査と同じ進路に決定した者は165名で実現度 77%(○) ・看護医療コースでは、外部講師による特別授業を30時間計画し実施した(○) ・看護師希望者 28名中、年内 21名合格(75%)(◎) ・3年看護医療コース 38名中、看護師体験 14名、歯科衛生士体験 10名参加(63%)(◎) ・保育体験全員参加(100%)(◎) イ・1年生:大学見学(10大学)全員参加(○) ・2年生:先輩の話を聴く会、進路別 17部門に、43名の卒業生が来校、全員参加(○) ・進路行事肯定率 59%(△) ・3年:進路満足度 94%(◎) ウ・来室者数(12月末)(H26:3062名←H25:4374名)(30%減)(△) ・貸出冊数(H26:2046冊←H25:2100冊)(○) エ・オーストラリア語学研修:7名参加(○) ・英検受験者数 29名(△) ・英検準2級合格率 28%(△)3級合格率 50%(○)
	(2) 充実した授業への授業改善 ア 授業改善の推進 イ 実践事例研修の実施 ウ 公開研究授業の実施	(2) ア・授業アンケート等を参考に課題と対応策を協議する。 イ・校内外の優れた実践事例の研修を実施する。 ウ・授業を公開する(保護者対象・教員相互)と共に、研究授業を積極的に実施する。	(2) ア・全教科、課題と対応策を提出 イ・実践事例研修を年1回実施 ウ・授業公開設定、他教員の授業見学、報告書の提出を年2回実施する。 ・授業満足度 80%以上	(2) ア・授業アンケート2回実施(7月・12月) ・教科の課題と対応策について全教科協議済(○) イ・「マルチメディア」「英語I」「英会話」「数学I」「情報」「家庭総合」「伝統芸能(能楽・文楽)体験学習」「ピアサポート」等のICTを活用した実践事例研修(外部向け)を実施。(◎) ・府教委より2回4名、外部校より6校14名、研究会より18校24人が視察(◎) ウ・授業公開:26名214講座設定80名参加(6月) ・授業公開:56名751講座設定28名参加(11月) ・授業満足度 73%(授業アンケート結果)(○) ・自己診断による、「教員相互の授業見学の機会がある」(H26:95%←H25:93%)、「教員間で、授業方法について検討する機会がある」(H26:75%←H25:58%)(◎) ・自己診断による「保護者が授業を参観する機会をよく設けている」(H26:82%←H25:70%)(◎) ・校長・教頭による教員全員(非常勤も含む72人)の授業参観を実施(○)
(3) 個別指導の充実と自己学習の支援 ア 支援の必要な生徒実態の把握 イ 進学講習の実施と自習室運営体制の整備	(3) ア・高校生活支援カードを活用し、適切な指導・支援の充実を図る。 イ・全学年を通じて講習、補習に取り組み、生徒の学力向上に努める。 ・各休業中において、自習室を開室する。	(3) ア・共通理解のための研修を年2回実施 イ・早朝、放課後、土曜、夏季、センター講習の申込者数 600人 ・自習室座席の利用率 80%	(3) ア・1年より高校生活支援カードの活用(○) ・教職員の人権研修2回実施(○) ・不祥事予防に向けた校長研修2回実施(○) ・「いじめ防止基本方針」に沿ったいじめ防止対策研修を1回実施(○) ・アンケート「安心して安全な学校生活を過ごすために」を活用した早期発見・早期対応実現(○) ・ケース会議14回実施(○) ・教育相談委員会25回実施(○) ・支援必要生徒(1年:10名、2年:7名、3年9名) ・見守り必要(1年:9名、2年:11名、3年4名) ・スクールカウンセラーによる面談を13回40人実施(◎) ・自己診断による「望ましい勤労観を持つことができるよう、各学年に応じた系統的なキャリア教育を行っている」(H26:89%←H25:66%)(◎) ・自己診断による「生徒一人ひとりが興味・関心、適性に応じて進路選択ができるよう、きめ細い指導を行っている」(H26:81%←H25:75%)(○) イ・講習申込者数は、早朝40名、放課後150名、夏季300名、センター講習20名のべ510名(○) ・自習室活用は、考查前に、各学年で実施	

## 府立東百舌鳥高等学校

<p>自主・自律・礼節を重んじる生徒の育成</p>	<p>(1) 規範意識の向上 ア 通学マナーの向上 イ あいさつ運動の実施 ウ 頭髪・服装・遅刻指導の推進 エ スマホに関する指導を実施 (2) 自主的活動ができる生徒集団の育成 ア 生徒会行事・生徒会活動・部活動の活性化 イ 生徒による演技・演奏の発表や芸術作品の発表の機会を増やすことにより、文化・芸術の振興を図る。 ウ 生徒による校内外の美化活動を推進する。</p>	<p>(1) ア・毎朝の立ち番指導及び通学マナー指導を継続する。 イ・毎朝の立ち番指導に合わせてあいさつ運動を実施する。 ウ・頭髪・服装・遅刻指導を推進する。 エ・1年生に対して、「スマートフォンによる人権侵害」についての取組を推進する。 ・外部の人材派遣による人権研修の開催 (2) ア・生徒会行事を生徒が自主的に運営する。 ・リーダー研修、ピアサポート研修の充実 ・中学生対象の学校説明会を生徒(生徒会役員・部活動部員)が運営する。 ・クラブ員による地域の小・中学生を対象にしたスポーツ教室の開催 ・全国大会出場に向けた支援 イ・部活動の発表の機会や場をつくり、生徒会が運営する。(睦月祭、及び校内展示等) ・各所に常時展示スペースを確保する。 ・新入生に入部を勧める冊子を配付する。 ウ・地域美化活動や東百舌鳥花プロジェクト、東百舌鳥ピカピカ隊を展開する。 ・校内清掃活動を推進する。</p>	<p>(1) ア・通学マナー指導を1週間単位で年5回実施 イ・自己診断におけるあいさつ度70%以上 ウ・遅刻総数前年度比10%減(H25年7833回、12月末) エ・スマホの指導を年3回以上実施 (2) ア・各行事後のアンケートにおける満足度90% ・リーダー研修年4回、ピアサポート研修年10回実施 ・学校説明会実施後のアンケート(対中学生)における肯定率90%以上 ・新入生の部活動加入率70%以上(平成25年度65%)</p>	<p>(1) ア・着実に年5回実施(1週間40人×5回=200人) ・毎回、重点指導を変えながら対応した結果、通学マナーの向上がみられた。(◎) イ・自己診断における挨拶について(89%)(◎) ウ・遅刻総数(H26:7988回、H25:7833回、12月末)クラスポイントを加味すると前年度比2%減(○) エ・「学校生活と人権に関わるアンケート」や「携帯電話と生活習慣についてのアンケート」において実態把握したうえで、各学年で「情報モラルに関する人権HR」を実施(○) ・「長期休業中の生活態度について」注意喚起 ・自己診断における「学校で命の大切さや人権、社会のルールについて学ぶ機会がある」について(63%)(○) (2) ア・学校祭「体育の部」満足度(H26:87%←H25:84%) 「文化の部」(H26:97%←H25:92%)(◎) ・リーダー研修年4回、ピアサポート研修年10回を着実に実施した。本部主催による「大阪ピアっ子、大集合」にも7名の生徒が参加(◎) ・宮崎県教委や大阪市養護教諭、他県の2高校の視察を受け入れ、学会での発表にも取り組んだ。 ・オープンスクール実施後のアンケートによる肯定率(1回:91%、2回:92%)、中学生体験入学ごのアンケートによる肯定率96%(◎) ・バスケットボール東百舌鳥杯(Shrike Cup)開催(8中学16チーム参加)(○) ・「ダンス部」全国大会3年連続出場、優秀賞受賞 ・「写真部」全総文茨城大会出品、奨励賞受賞(◎) ・部活動加入率52%(1年:57%、2年:48%、3年:49%)、(△) イ・睦月祭開催(文科系クラブ7団体出演)(○) ・芸文祭開会行事に「生徒代表挨拶」参加(◎) ・芸文祭(バトン部・ダンス部)に参加(○) ウ・東百舌鳥「花プロジェクト」に、3回延べ16人参加(○) ・「安全衛生委員会」を8回開催し、職場環境の改善に取り組んだ。また「学校保健委員会」を2回実施した。(◎)</p>
<p>ICT機器の活用</p>	<p>(1) ICT機器を活用した校務の効率化 ア 校内イントラネットの活用 (2) ICT機器を活用した授業を推進 ア タブレット型PCや電子黒板等を活用 イ フューチャールームの活用 ウ 教職員のICT活用力の向上</p>	<p>(1) ア・学校情報を校内イントラネットで一括管理する。(分掌・学年・各委員会・職員会議資料・日々の予定等) (2) ア・タブレット型PCを始めとしたICT機器を使った研究授業を行う。また、その研究成果を他校に伝える。 イ・フューチャールームを活用してICT活用力の向上を図る。 ・授業・特別活動・職員会議・研修報告会で利用 ウ・ICT活用力向上の研修会を開催する。</p>	<p>(1) ア・各分掌や各学年間の連携に関する肯定率50%以上 (2) ア・ICT機器を使った研究授業を年6回以上実施 イ・授業、職員会議、研修報告会、PTA活動等で、年50回以上利用 ウ・研修会を年2回以上開催</p>	<p>(1) ア・各分掌・各学年間の連携に関する肯定率48%(○) ・9月より「職員会議規程」等を改訂したことや、資料を事前に整理し綴ることにより、職員会議の時間が大幅に短縮されるようになった(◎) (2) ア・自己診断による「コンピュータ等のICT機器が授業などで活用されている」(H26:93%←H25:85%)(◎) イ・タブレット型PCを始めとしたICT活用および協働学習により国語、社会、数学、英語、情報、保健、音楽、家庭、カウンセリング、マルチメディアの授業をのべ59回行った。(◎) ・ピアサポート研修で定期的に10回活用。(○) ・ICT講習会(2回)や人権研修等の教職員研修(2回)、PTA講演会(1回)、中学生体験入学(2回)で活用した。(○) ウ・内部では新転任向けに、外部には府教委はじめ学校や研究会を対象に研修会を9回実施(◎)</p>

## 府立東百舌鳥高等学校

信頼される学校づくり	<p>(1) 開かれた学校づくり ア 学校案内パンフレットを刷新 イ ブログを活用した情報を発信 ウ 学校メールマガジン(モズマガ)の利用拡大</p> <p>(2) 地域と連携した事業の展開 ア 子育てサポートルームとの交流 イ 堺市、地域自治会、地域中学・大学との連携</p>	<p>(1) ア・平成27年度に向けて学校案内パンフレットを刷新する。 イ・校長室ブログ・生徒会ブログ・部活動ブログ・図書館ブログの積極的な更新を推進する。 ウ・学年の様子をモズマガとして発行する。</p> <p>(2) ア・子育てサポートルームとの交流を継続する。 イ・中区役所自治推進課のSHSなかじよまちづくりミーティングに参加する。 ・地域との交流を実施し、文化の発信地としての学校の特色をアピールする。 ・デジタルカメラ講習・歴史探訪を実施 ・毎朝の立ち番指導の際、地域の中学生にも声を掛ける。</p>	<p>(1) ア・学校案内パンフレットを刷新 イ・2週に1回発行 ウ・2週に1回発行</p> <p>(2) ア・交流参加生徒のべ200人以上 イ・中区安全安心まちづくり事業に貢献 ・中区民フェスタに参加 ・デジタルカメラ講習・歴史探訪の参加者をポイントやす。 ・フューチャールーム等の利用者数年間100人以上</p>	<p>(1) ア・残部を有効活用するために、来年度に向けて学校案内パンフレットを刷新する(△) イ・校長ブログは、4月以降350回余り、ほぼ毎日更新。校長以外のブログの更新は2週に1回以上で、合計31回であった。(○) ・校長ブログの効果により、自己診断による「この学校のホームページは充実している」は急上昇した(H26:79%←H25:34%)(◎) ・ホームページへのアクセス数は、月に1万回。 ウ・各学年とも2週に1回のペースで着実に発行。 ・自己診断による「メールマガジンは役に立っている」(H26:93%←H25:87%)(◎)</p> <p>(2) ア・H27.10より堺市の制度が変わり、「子育てサポートルーム」から「子育てひろば 東もず」に変更し校外に移設したが、引き続き、交流していく予定。のべ196名交流。(○) イ・中学校訪問(里帰り訪問)57名の生徒が50中学を訪問。長期休暇を利用して、1年生が各出身中学に里帰り訪問をして、本校の良さをアピールした。中学校では大歓迎され大好評だった(◎) ・女子高生の生活場面ごとにまとめた防犯啓発冊子について発表した。(○) ・8/23(土)に開催された区民フェスタに参加(ダンス部、バトン部)。(○) ・吹奏音楽部がケアハウスを慰問、校内ではクリスマスライブを開催。3年音楽選択生が出前演奏会を実施。府大CS活動に吹奏音楽部、バトン部が参加。(○) ・“デジタル写真講習会”を年間5回実施し、参加者数合計は73名であった。12月実施の作品展では、外部より38名の入場があった。(○) ・歴史探訪を7/5に「平野郷環濠」で行った。デジタル写真講習も兼ねて20名が参加。(○) ・ロボット講習会を年3回開催し、計88名が参加、パソコン部2名が支援にあたった。(○) ・フューチャールーム等の利用者数は、デジタル写真作品展(38名)やPTAによるピアサポート研修(26名)、1年生人権学習の大学生によるデートDVワークショップ(40名)、2年生の人権学習JICA講演会(40名)等多数。(◎)</p>
------------	---	--	--	---